



システム設定

- システム設定 (1 ページ)
- システム エイリアスとバナー (1 ページ)
- ログイン試行回数とロックアウト時間 (2 ページ)

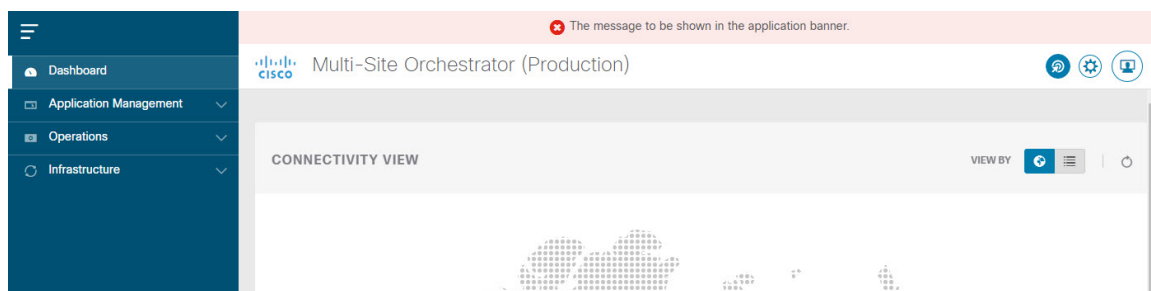
システム設定

次のセクションで説明するように、Multi-Site Orchestrator に対して設定できる、**管理 > システム設定**で使用可能なグローバルシステム設定が多数あります。

システム エイリアスとバナー

このセクションでは、Nexus Dashboard Orchestrator のエイリアスを設定する方法と、次の図に示すように、GUI全体で画面の上部に表示されるカスタムのバナーを有効にする方法について説明します。

図 1: システム バナーの表示



ステップ 1 Orchestrator にログインします。

ステップ 2 左側のナビゲーション ペインから**[管理 (Admin)] > [システム設定 (System Configuration)]** を選択します。

ステップ 3 **[編集 (Edit)]** のアイコンをクリックします。これは**[システム エイリアスとバナー System Alias & Banners]** 領域の右にあります。

[システム エイリアスとバナー System & Banners] の設定ウィンドウが表示されます。

ステップ4 [エイリアス (Alias)] フィールドで、システムのエイリアスを指定します。

ステップ5 GUI バナーを有効にするかどうかを選択します。

ステップ6 バナーを有効にする場合には、バナーに表示されるメッセージを指定する必要があります。

ステップ7 バナーを有効にする場合には、バナーの重大度を意味する色を選択する必要があります。

ステップ8 [保存 (Save)] をクリックして、変更内容を保存します。

ログイン試行回数とロックアウト時間

Orchestrator がログイン試行を連続して失敗したことが検出されると、そのユーザは、不正アクセスを防ぐために、システムからロックアウトされます。ログイン試行が失敗した場合の処理方法は設定できます。たとえば、何回失敗するとロックアウトされるか、およびロックアウトの長さなどがあります。



(注) この機能は、リリース 2.2(1) 以降を最初にインストールしたとき、アップグレードしたときにデフォルトで有効になります。

ステップ1 Orchestrator にログインします。

ステップ2 左側のナビゲーション ペインから[管理 (Admin)] > [システム設定 (System Configuration)] を選択します。

ステップ3 [試行の失敗&ロックアウト時間 (Fail Attempts & Lockout Time)] エリアの右側にある [編集 (Edit)] アイコンをクリックします。

これにより、[試行の失敗&ロックアウト時間 (Fail Attempts & Lockout Time)] 設定ウィンドウが表示されます。

ステップ4 [試行の失敗の設定 (Fail Attempts Settings)] ドロップダウンから、ユーザが何回試行に失敗するとロックアウトされるかを選択します。

ステップ5 [ロックアウト時間(分)(Lockout Time (Minutes))] ドロップダウンから、ロックアウトの長さを選択します。

これは、トリガーされた後の、基本的なロックアウト期間を指定します。このタイマーは、さらにログイン試行が連続して失敗するたびに、3 ずつ延長されます。

ステップ6 [保存 (Save)] をクリックして、変更内容を保存します。